

補助金活用し公営団地にLPWA

設置率 80%超え、効果検証し 100%目指す

入居者の高齢化、人材不足等が契機 迅速な情報でお客様対応スムーズに

公営団地へのLPガス供給を担う熊本液化石油ガス事業協同組合は、着実に自動検針の件数を増やし、保安レベルの向上に努めている。

液化石油ガス法上の供給先におけるLPWA設置率は81%で、令和5年度の補助事業を活用して約50%引き上げた。設置後の効果を検証しながら、段階的に導入を進めている。

地域のガス事業者55社で組織した同組合は、市営住宅40団地、県営住宅1団地への供給、保安点検、消費機器の設置を行い、安定した運営を続けている。

LPWAを推進する背景には、入居者の高齢化に伴うガスの消し忘れなどによる遮断が多いことや、検針員の高齢化、人材不足の課題があった。検針員のなかには、団地が建った当初から住んでいる人もいる。

お客様はガス事業法上のコミュニティーガス（旧簡易ガス）が約8割を占める。今回のLPWA導入は、組合全体の事業でIT化を進めるに当たり、補助金を活用した液石法の供給先の自動検針化を試金石として、システム運用の実感を得る狙いもあった。

導入後はメーター遮断の情報がすぐに上がってくることや、警報内容をあらかじめ把握できることに恩恵を感じている。業務効率化によるお客様サービス向上への時間の捻出と、お客様の安全



本部があるLPガス会館

確保と事前連絡によるスムーズな対応ができるようになった。

異変時の閉開栓連絡でメリット実感 余力を保安拡充と社員教育に充当

お客様には団地の貼り紙で、自動検針への切り替えと機器の取り付け作業を通知した。その後、検針結果と請求書がレシートからはがきに替わる旨を記載した図入りの文書を戸別に配布して周知した。

設置作業はすべて自社施工で実施した。親機、中継機を取り付ける際は、電動ドリルの音が発生するため、事前に入居者に説明してクレームを回避した。

支払いは口座振替、コンビニ支払いなどお客様の要望に対応しており、集金は団地居住者の人が請け負っている一部のみで、ほとんど行っていない。



伊藤幸喜専務理事（左）と佐藤隆一理事兼マネージャー

LPWA設置後のお客様の反応については、高齢の入居者の方からも「電気でも自動検針があるし、そういうものだよ」と滞りなく受け入れられた。また、ガスの長時間使用で遮断した後に開栓方法を電話で伝えたお客様からは、感謝の言葉もいただいたという。

伊藤幸喜専務理事は「検針に来ていること自体ご存じないお客様も多いため、自動検針が変わったという認識はあまりないようだ。こちらから異変に気づき、早期に連絡することでお客様の安全・安心につなげていきたい」と実感を述べた。

システム連動についても、通信機器メーカーの手際の良さもあり、前回の補助事業の時から支障なく運用できている。はがきでの通知は、まれに払込票と間違えられたことがある程度で、問題なく移行を進められている。

課題解決へIT化で保安高度化推進 コミュニティーガスも補助対象に

佐藤隆一理事兼マネージャーは「業務効率化で生まれた時間は主に保安の拡充に当て、それに伴う社員教育にも力を入れていく。一方、定年退職や少子化に伴う人員の確保は課題だ」と話し、目下は一人ひとりの技術力を上げていく考えだ。IT



端末設置作業中の組合従業員

IT化で労働力をカバーしつつ、最も重要な保安の高度化を進めていく。「団地で供給先がまとまっているので、周知や工事の進めやすさもある」（佐藤理事）という特徴も活かしていく。

2024年で熊本液化石油ガス事業協同組合は創立50周年を迎えた。

供給や保安点検だけでなく、機器の設置や工事も自社で担い、長年にわたりお客様の暮らしを支えてきたが、引き続き顧客満足のサービス提供に邁進していく。

今後もさらなる業務効率化と保安の高度化に向けて、LPWA設置率100%を目指して普及拡大を進めていく。

組合の事業全体としてIT化を推進していくに際して、コミュニティーガス供給先についても構造改善事業の対象となることを望む。

L PWA通信システムの実態調査票

事業者名	熊本液化石油ガス事業協同組合	フリガナ	クマエィカセキガズギョウキョウトウクミアイ
所在地	熊本県熊本市中央区上水前寺2-18-4	ホームページ	https://www.kumalpg-kumiai.com/
代表者	代表理事 佐藤 逸郎	従業員数	15名
事業責任者名	伊藤 幸喜	役職	専務理事
担当者名	佐藤 隆一	部署・役職	マネージャー
電話番号	0964-382-4000	メールアドレス	ekiseki.ito@vega.ocn.ne.jp
お客様件数	779 件／うち家庭用 779 件、業務用 件		
主な事業内容	・市営住宅40団地、県営住宅1団地へのLPガスの供給、保安点検業務、ガス消費機器設置		
会社の強み	・公営住宅入居者に対しLPガスを供給している組合であるため、業績は安定している。 ・安定したガスの供給と安全・安心な保安を確保するため、地域のガス事業者55社による事業協同組合を組織し安定的に運営している。		

L PWA通信システム設置件数と設置率	設置件数(導入後)	631 件	／設置率(導入後)	81.0 %
	設置件数(導入前)	240 件	／設置率(導入前)	30.8 %
	導入前比増加件数	391 件	／導入前比増加率	50.2 %
活用方法	<input type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input checked="" type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安 <具体的な活用方法> ・主に自動検針と保安情報のリアルタイムな把握に活用している。			
導入目的	<申請前における問題点> ・検針員の高齢化による人手不足 ・入居者の高齢化によるガスの消し忘れ等による遮断が多い。 <期待した導入効果> ・検針業務の効率化、人手不足解消 ・保安情報をリアルタイムに受信することでお客様の安全を確保する。			
導入費用	総額	2,325,000 円／内補助金対象額 2,325,000 円		
	補助金額	1,162,500 円		
導入期間	補助金申請日	西暦 2023 年 6 月 9 日		
	機器設置完了日	西暦 2023 年 10 月 4 日		
	所要期間	4 力月		
実行体制	合計 7 名／うち社内 7 名、社外 名			

導入までのスケジュール			
・仕様検討	5月～5月末（1カ月）		
・メーカー選定	既存システムとの整合性から選定		
・設置先選定	4月～5月末（2カ月）		
・補助金申請書作成	6月1日～9日（9日）		
・事前調査	4月（2日）		
・事前周知	9月末（1日）		
・設置工事	9月下旬～10月4日（10日）		
・試験運用	10月5日～16日（初回の検針日まで）		
・本格運用	10月17日～		
・メーカー講習会	既存システムと同一のため実施していない		
・その他（ ）	月		
通信機器メーカーの選定理由	親機のLTEネットワークを利用しており、広範囲なエリアで利用が可能である。 1台の親機に多数の子機を収容可能なため、効率的な運用が可能である。		
導入・設置を進める中で生じた問題点と改善策	親機、中継機を設置する際に使用する電動ドリルの音が発生するため、事前に該当の入居者へ説明してクレームを回避した。		
導入後の効果（コスト面、効率化、お客様の反応等）	検針業務の効率化が図れたことで生まれた稼働を顧客サービスの向上等に活用できるようになった。 警報をリアルタイムに把握できるようになり、保安業務の効率化にも繋がった。		
事業における導入後の影響や変化（お客様対応、社内体制等）	事前に警報内容が把握できるため、お客様対応がスムーズに行えるようになった。		
今後の拡張方針	<input type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ ） <具体的な活用方法> さらなる効率化と保安の高度化に向け、導入率100%を目指して拡大していきたい。		
自己評価 (5点満点) 5点=大変だった ↓ 1点=大変でなかった	作業項目	評価	評価5点または4点の具体的な内容
	申請作業	1点	
	メーカー選定	1点	
	事前周知	2点	
	設置工事	1点	
	試運転	1点	
その他	点		
申請からこれまでにあった反響・意見・要望等（社内、取引先、お客様等）	使用時間オーバー遮断したお客様に電話し、開栓方法を伝えたら感謝された。		
補助事業申請予定事業者へのアドバイス（こうしておけば良かった、注意すべき点等）	問題なく遂行できたので特になし		
構造改善事業において今後支援を望むこと（具体的な内容）	コミュニティガスも構造改善事業の対象にして欲しい。		